

つばさ NO.1

平成28年 4月
発行
宿毛市教育委員会
教育研究所内
教育相談センター
(ふれあい教室)

新年度がスタートしました。今年も教育相談センター（ふれあい教室）の月々の会報として「つばさ」を発行します。

教育相談センターの主な業務として

- ① 子供に関する悩みを専門家に相談するカウンセリング計画
 - ② 保護者を対象とした会＝翼を守る会
 - ③ 子供の教科学習や体験学習・生活体験の支援
 - ④ SSW の学校・家庭訪問
 - ⑤ 一般相談の対応
- 等があげられます。

職員は昨年度同様、井村 悟（教育相談員）・近澤ゆみ子（SSW）・大崎志津（SSW）の3人です。よろしくお願いたします。



- カウンセリング（教育相談） 子供に関することを専門家に相談する業務で、これまでのカウンセラーが都合で不在になり、現在調整中ですが今月は21日（木）のみ予定しています。希望の方はご連絡下さい。午後2時から5時までの50分単位で3枠の時間帯です。

尚、次号ではカウンセラーの紹介ができると思います。

所在地 及び 連絡

☎ 教育研究所
(相談センター)

63-1127



- 翼を守る会

宿毛市に住んでいる、不登校や不登校気味な児童・生徒の保護者さんとの会です。保護者さんや家族は、他人には計り知れない心情があると思います。少しでも悩みや心の負担が軽くなればと願ってできた会です。堅苦しい話し合いではありません。手芸作品などを作ります。手作業をしながら語りあいませんか。語り合うことによって、気持ち楽になることもあると思います。

毎月1回 13時30分～15時、ふれあい教室で行います。
参加してみませんか。

(裏もあります)

➤ SSW (スクールソーシャルワーカー) とは

子供たちが日々の生活の中で出会ういろいろな困難な状況などを、解決の方向に支援していくものです。保護者さんと学校や関係機関とをつなぐ役割です。

スクールソーシャルワーカーって何？

子どもたちが日々の生活の中で出会ういろいろな困難を、子どもの側に立って解決するためのサポートシステムです。日本では、1980年代の半ばから必要性を訴える声が上がりはじめました。徐々に関心を抱く人が増えつつありますが、まだ制度として導入される段階にまで至っていません。

現在、米国を中心として世界の多くの国々で取り入れられ、現在も広がりつつあります。

子どもたちを取り巻く環境は厳しく、彼（彼女）等は絶えることなしに、さまざまな形で苦痛を訴え続けています。こうした現実を念頭に置くと、子どもを中心にした支援体制の必要性を痛感しないではいられません。

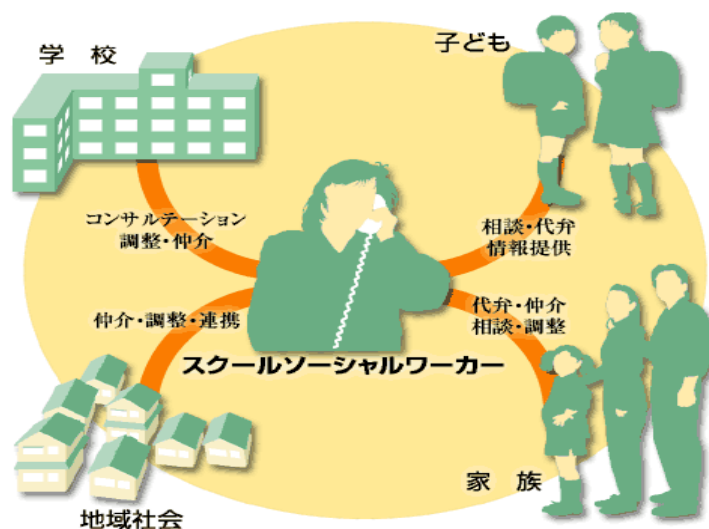


SSWの基本的な姿勢

- 一人ひとりの子どもを個人として尊重します。
- 子どものパートナーとして一緒に問題解決に取り組みます。
- 子どもの利益を第一に考えます。
- 秘密を守ります。
- 問題よりも可能性に目を向けます。
- 物事を自分で決めるようにサポートします。
- 個人に責任を求めるのではなく、環境との相互影響に焦点を当てます。

SSWはこんなことをします

- 話によく耳を傾けます。
- 一緒に活動します。(スポーツ・ゲーム・音楽)
- 勉強がしたければ手伝います。
- 親との間に立って、気持ちを代弁します。
- 学校との間に立って、調整や仲介をします。
- 地域のいろいろなサポート資源を紹介します。
- 必要な情報を提供します。



* 特定非営利活動法人「日本スクールソーシャルワーク協会」 Web より抜粋